交流・文化施設等運営管理計画検討委員会（第２回ホール検討委員会）次第

日　時：平成 23 年 2 月 8 日（火）
午前 11 時 10 分～
場　所：上田市役所 3 階第一応接室

１　開　会

２　会議事項

（１）事業展開、運営管理の基本的方向性について

①事業計画（事業展開・主な事業内容）について

②施設運営管理体制・組織について

③運営管理費計画について

④その他

（２）その他

・今後の委員会開催日程について

３　その他

４　閉　会

（配布資料）　資料①　事業展開・運営管理の基本的方向性について

資料②　第１回ホール検討委員会　発言要旨

資料①

事業展開・運営管理の基本的方向性について（第２回ホール委員会資料）

１　事業計画（事業展開・主な事業内容）について
（ホールの具体的な事業展開の想定［事業展開の例］）

自主事業

総合的事業

●交流・文化施設のメインとなる事業の実施

・新しい施設の魅力、上田の文化を全国に向けて発信し、上田の”顔”の見えるような事業を実施する。

・大ホールだけでなく施設全体を活用し、また、鑑賞だけでなく市民も一緒になった総合的事業とする。

（事業の例）フェスティバル、音楽会等

（年間本数）１

（主な会場）交流・文化施設全体

鑑賞事業

●魅力的な公演の実施

・買い取りや自主企画制作などでコンサートや演劇等の公演を実施する。

（事業の例）国内外クラシック音楽、海外のオペラ・バレエ、国内外ポップス、ジャズ・民族音楽・その他音楽、ミュージカル・新劇・歌舞伎、現代劇、落語・講演会　など

（年間本数）７

（主な会場）大ホール

●観客育成型の公演

・知的欲求を満たし、観客育成につながる事業を実施する。

・市民緑地のフリースペースを活用した野外コンサートなども含め、気軽に楽しめる公演を継続的に実施していく。

（事業の例）ランチタイムコンサート、親子コンサート、レクチャーつき公演、野外コンサート　など

（年間本数）６

（主な会場）大ホール、緑地・広場

育成事業

●参加体験型の各種講座やワークショップの実施

・音楽や演劇、アートマネジメントなど参加体験型各種講座を実施する。

（事業の例）子ども演劇ワークショップ、民族音楽の体験講座、ホールマネジメントの体験講座、バックステージツアー　など

（年間本数）４

（主な会場）大ホール、小ホール、交流施設

●アウトリーチ活動

・ホールに足を運ぶ機会がない人々に向けて、出前で各種の講座や公演を行う。

・地域のアーティストと連携し実施していく。

（事業の例）出前コンサート・出前公演（学校、福祉施設、公民館など地域の集会施設等で出前での公演や講座）　など
（年間本数）５

●福祉や教育との連携
・教育や福祉現場と連携した事業を行う。
（事業の例）小中高校等の芸術鑑賞、音楽療法プログラム、高齢者対象の音楽療法　など
（年間本数）２

創造・創作支援事業
●市民文化活動の支援
・市民文化団体の活動の活発化、レベルアップなどに向けて各種の支援を行う
（事業の例）市民文化活動への相談窓口の設置　など
（年間本数）通年

●ホール運営への市民参加
・ホール運営の専門性に関わる人材育成を目指した研修事業を実施する。
（事業の例）レセプショニスト育成講座、舞台技術ワークショップ　など
（年間本数）６

交流事業
●オリジナル市民ミュージカルの制作
・戯曲ワークショップや演劇ワークショップを通じて、市民が制作し市民が舞台にあがる、上田市をテーマとするオリジナルの市民ミュージカルを制作する。
（事業の例）市民ミュージカルの制作、公演　など
（年間本数）１
（主な会場）大ホール、小ホール

貸館事業
地域の文化活動支援事業
●文化団体への貸し館を、地域における文化芸術の担い手が働きかけてくれる機会と捉え、積極的に働きかけ、関係性を強化していく。
・ホール職員が演出や作品内容等についてアドバイスするなど積極的に関わり、地域の才能を発掘・育成していく。
（事業の例）上田城跡能、吹奏楽･合唱等の公演・大会、ピアノ教室発表会、文化団体・大学発表会、高校舞台発表、幼・小・中・高音楽会、バンドコンサート　など
（年間本数）１００
（主な会場）大ホール、小ホール、交流施設、緑地

プロ公演支援
●プロへの貸し館を、鑑賞機会の拡充と捉え、利用を促進するようつとめる。
・プロ利用への貸し館営業
・利用にあたっては、使いやすい施設となるよう、協力体制をとっていく。
（事業の例）国内外ポピュラー・ニューミュージックコンサート、ミュージカル、ジャズ、その他音楽、市民劇場観劇会、現代劇　など

（年間本数）４０
（主な会場）大ホール

大会・集会利用の促進
●大会・集会利用を、地域活性化の機会と捉え、積極的に誘致していく。
・大会・集会利用への貸し館営業
・観光や商業などと連携し、上田全体を楽しんでもらう仕掛けづくりを行う。
（事業の例）上田城千本桜まつり等各種まつり会場、団体・大学・企業等式典、大学や専門学校の入学式、団体・事業所等の全国大会、保健・福祉・人権・青少年等の市民大会、県民大会、全国大会など
（年間本数）６０
（主な会場）大ホール、小ホール、交流施設、緑地

２　運営管理体制・組織について

○　運営管理体制
・直営か指定管理者か

○　運営管理組織
・交流文化施設全体の運営管理方法
・ホール管理と美術館管理のすみ分け、連携
・ホール管理における人員体制について

３　運営管理費の見込みについて

○　支出の試算
・維持管理費
交流文化施設全体で、年間２３１百万円と想定
・事業費
ホール部分で約４千万円と想定
・人件費
人件費の算出にあたり、人員配置を次のとおりと想定
①　館　長（ホール、美術館を総括する館長）１名
②　ホール（プロデューサー、管理部門、事業部門、技術部門）１３名
③　美術館（プロデューサー、管理部門、事業部門）６名
以上合計２０名程度を想定
人件費は合計で１億円程度と想定

○　収入の試算
・利用料収入　大ホール　２７百万円
小ホール　５百万円
交流施設　５百万円
・事業収入　ホール全体　２０百万円

資料②

（様式第４号）**交流・文化施設等運営管理計画検討委員会（第１回ホール検討委員会）会議概要**

1	会議名	交流・文化施設等運営管理計画検討委員会（第１回ホール検討委員会）
2	日　時	平成 23 年 1 月 19 日　午後 1 時 00 分から後 2 時 30 分まで
3	会　場	上田市役所 3 階　第 1 応接室
4	出席者	津村委員長、関田委員、渡辺委員、成沢委員、関口委員、金井委員
5	市側出席者	宮川政策企画局長、中部文化振興課長、滝沢文化振興課地域文化係長、室賀交流・文化施設建設準備係長、徳田主査、
6	運営支援業務受託者	A.T.Network　近江哲朗氏
7	公開・非公開等の別	公開　・　一部公開　・　非公開
8	傍聴者	0 人　記者　1 人
9	会議概要作成年月日	平成 23 年 1 月 20 日

協　議　事　項　等

1　開　会（宮川政策企画局長）

2　委員長選任
（事務局推薦、各委員の承認により津村委員長に決定）

3　委員長挨拶（津村委員長）
委員会では「よいものをつくる」ということを最大の目的にして進めていきたい。この会議では交流・文化施設等整備計画の内容を基に発言をいただきたいが、ハードの部分について詳細に議論を始めるときりがないので、とくに事業展開に関連した発言をお願いしたい。

4　協議事項

委員長：会議を進めるにあたり交流・文化施設整備計画の冊子をベースとしてこの整備計画のことで事務局から補足する部分があればお願いしたい。

事務局：整備計画の 19 ページに事業方針、20 ページに事業内容を記載している。この他にどういうもの加えていけばよいのか、などを議論いただきたい。

委　員：私たちの会は、長年の経過において進歩的な会館をお願いしたいと要望してきたが、設計者の提案はイメージが違う。大ホールの 1,700 席というものが妥当かどうか、また 4 層客席（1 階席プラス 3 層バルコニー席）となっており、もっと圧縮して、見やすい、使いやすい状態にしてはどうか。300 席の小ホールについては、やはり多目的に音楽や舞台にも使いたい。それから、リハーサル室のイメージは純正なるリハーサル室というものが妥当。こういった内容は基本設計ができてからでは遅く、現段階で根本的な話し合いをしたい。

委　員：1,700 席というのは、ある程度目安にしてよいのではないか。これから検討されると思うが、客席可変装置が付けば、まさに大ホールと中ホールと二本立ての使い方ができる。小ホールについては、音楽関係者は非常に強く固定席を希望してきたが、リハーサル室は演劇もできるようなリハーサル室が第３のホールとしてできるなら、これは非常に贅沢な、恵まれた設備になるのではないか。

委　員：キャパシティがすべてを物語るわけではないが、吹奏楽関係から言うと 1,500 席以上 2,000 席弱といったところでなければ恐らく県大会の催しができない。

委員長：ハード面の議論が先行しているが、事業面は後にそれぞれお聞きすることとして、引続きこのハード面について専門的な立場からご意見をいただきたい。

委　員：平成 20 年実施の市民アンケート結果によると、かなり多くの方々が、「上田でも一流の音楽家やオーケストラ、バレエ、そういうものを観たい」と要望されている。これらを提供している私の立場からいうと、一流の音楽家の皆さんは劇場を選ぶ。現状では、上田というのは、今までなかなか候補として挙がらない。一流のものを見せるためには、外部から、例えば新聞社、テレビ局、プロモーターなどが「上田に良い劇場があるから、あそこへ行ってやろう」となることが必要。そういった点でやはり 1,700 席ぐらいは必要ではないか。

委員長：外部の方が使うという点は非常に重要であると思う。それから、上田という新幹線を使えば東京に限りなく近い場所が、果たして有効なのかどうかというような問題なども、これからお聞きしていきたい。

委　員：以前まつもと市民芸術館のプロデューサー兼支配人を務めたが、自主事業は集客が厳しい。そうすると 1,000～1,200 席ぐらいがもうギリギリだと思う。ところがプロモーターさんなどはやっぱり 2,000 に近いものは欲しいと言う。ここは運営していると矛盾が生じるところで、「自主事業でもうちょっと入れたいけど入らない。でも貸館だと 1,500 じゃ少ない」という状況。実際には自主事業でやると 1,000 というのが実感。上田市内にいくつかホールがあるが、それらの役割はどのように考えるべきか。

事務局：整備計画では、上田文化会館（約 500 席）、丸子文化会館（約 800 席）などを活かしつつこのホールを運営していきたいとしているが、どのように差別化するか具体的な検討には至っていない。

委　員：小ホールも含めて、どのように上田のイメージを出すかが課題。音楽中心という方向性をはっきり出した方が、施設としては強くなるのではないか。ところで、整備計画に「創造・創作支援」や「育成」とあるがその稽古はどこでやるのか。数は足りているのか。

委員長：本格的に創造事業をやろうとすると練習室などの諸室が足りない。このリハーサル室も、実はメリット・デメリットがあると思う。本当にホールとして利用され始めると、リハーサル室としては利用できなくなる。

委　員：上田文化会館の練習室は稼動率が非常に高く、様々なサークルで使われている。また、信州国際音楽村「ホールこだま」市内ピアノ教室の発表会場として人気が高い。

委員長：ハード面の議論が深まってきたので、次に、このホールでどのような事業を進めるべきか、専門的な立場からお話をいただきたい。

事務局：ハード面の検討について予めご承知いただきたいが、午前の全体会議でお示しした施設イメージ図等は、設計者選定の過程における提案に過ぎず、あくまでもこれを基本とした設計検討を行っている。大ホールについては、席数やバルコニーの数など、最終的な結論に至っていない。小ホールについても、固定席で多目的に使える、という点が整備計画の基本であり、その部分は設計業者側に伝えているところ。また、リハーサル室についても、提案図には可動席が示されているが、現在の検討の中では可動席は除かれている。今後、市長アドバイザー会議、それから設計検討専門会議においても、基本的には整備計画の理念を設計に活かすという前提で進めている。

委員長：整備計画書を踏まえ、この上田の新しいホールでの事業展開についての意見をいただきたい。

委　員：上田の「顔」として、この新しい文化拠点から発信する、定期的なフェスティバルなどの催しを考えてはどうか。例えば「上田国際音楽祭」という実行委員会形式の、上田にいる音楽関係の皆さんが揃ってボランティアを組織し、市も加わって行うことを提案したい。「仙台クラシックフェスティバル」や「松本のサイトウキネン・フェスティバル」などが類似した事例としてある。もう一つは、東京のオーケストラとフランチャイズ契約を締結し、年に１～２回上田定期公演を行うような手法。さらに管理・運営体制については館長に有名人を据えるということも上田の「顔」をつくる上で大切。

委　員：ハードを宣伝するのではなく、ソフトをアピールする。これだけの施設をつくるのであれば、そういう考え方も大事ではないか。

委　員：「サイトウキネン・フェスティバル」はとても上手に運営されていて、最初は批判もあったと聞くが、これだけ続いて、結局今は市民権を得ているのではないか。

委　員：整備計画書にある事業計画の大半が、このフェスティバルの中でできる。地域と子どもたちをアウトリーチで、また美術館のなかで小さいコンサートをやってもよい。

委　員：「継続は力なり」で、最初から大きなものを目指しても難しい。ボランティアによる「友の会」のような組織を設立する必要がある。

委員長：フェスティバルというのは、全国的に見ても、ホールが自主事業としてホールの予算を使って開催している例は少なく、多くは地域と役割分担をしながらやっている。ホールの役割とい

うのは、基本的には場をいかに有効に提供していけるかということが中心になるため、地域の催し物として、その自治体全体がどのようにそのフェスティバルを支えていくかということがなければ、１回か２回で終わってしまう。

委　員：運営方式について、直営にするのか、指定管理者にするのかということは、後に組織体制の検討で出てくると思うが、最終的にはこれは市が決めることだと思う。今まで全国の例を見ると、新しいホールができた場合、ホールの運営経験がある財団法人などがある場合は、開館後すぐに指定管理となる場合が多い。

委員長：開館当初は直営からスタートする方がホール運営としては安定すると思う。ただ、直営だからといってすべてを市の職員がやるわけではなく、そこにプロを雇用して契約していくという形がよい。

委　員：上田市の場合も、やはり数年間は直営で運営し、その中で運営の基礎を作っていくべきかと思う。

委員長：この問題はやはり最終的には市の判断ということになる。事業についての意見をもう少しいただきたい。

委　員：ホールを作ってお客様を入れるという事は、やっぱり「商売」であり、この感覚を抜きにしては絶対に無理だと思う。

委　員：市民に足を運んでもらうことから始めることというのは必要。

委　員：何か事業の「核」になるもの必要であり、それを作ることによって全国に上田のホールが知れていくという事は非常に重要。またこのホールは地理的な優位点はあると思う。

委員長：地理的に東京に近いため、逆に、東京に行くほうがよいという市民が多くなれば、チケットは売れない可能性が出てくる。これが諸刃の剣として、事業を組み立てていく中でいちばん難しい部分になっていくと思う。

委　員：やはり「顔」が必要だと思うが、施設の基本理念のところに「育成」が出ており、この点を重視すべきではないか。

委　員：文化施設の愛称を公募して、みんなに親しまれるようなネーミングをする。「アリオ上田」に負けないような、愛される、そういう愛称を付けるべき。

事務局：愛称の場合、施設全体をイメージする愛称と、ホールをイメージする愛称と、二つそれぞれあるが、どのような考えるべきか。

委　員：まだ具体的にはイメージは浮かばない。

委員長：時期が迫ってきた時点で考えるべきではないか。

委　員：「館長」を考えるとき、指定管理者制度になると、位置づけがわかりにくくなるという面がある。

委　員：名誉館長を置いている施設もあるが…。

委員長：そろそろ終了の時間が迫っているが、次回からはもう少し具体的に、整備計画 19 ページの事業計画を踏まえ、どういう事業の展開をしていくべきかを詰めていきたい。では、第１回のホール検討委員会はこれで終わりたいと思います

５　次回（第２回）日程

２月８日（火）　午前 11 時 10 分から

第5章　事業計画

1．ホール部分の事業計画

(1)　事業方針

①　長期的な視野に基づく事業展開

ホールは舞台（作品）と観客のいずれが欠けても成立しません。その双方に目配りし育てていくための仕掛けが「事業」であると考えます。理念に基づく長期計画のもと、作品と観客の双方を育成する事業を実施していきます。

②　ほんものの芸術と出会い、文化芸術経験と刺激・感動を得られる場を提供

市民が文化芸術と触れ合う機会の拡大につとめるとともに、未知の表現や価値観が提供できる事業を意識し、多様性を認めあう生き生きした上田市の実現に寄与していきます。

③　市民による自主的な文化活動への支援

市民が自ら行う文化活動への「施設利用」について、日常的に相談にのるなど、市民文化の育成に向けた支援を積極的に働きかけていきます。

④　プロ公演や大会・集会での利用促進

市民への鑑賞機会拡充につながるプロ公演への貸し館や、県内外から人々が集う県・全国規模の大会・集会などの利用促進に努めます。

⑤　開かれた施設、外に出て行く施設

市内全域をフィールドに、学校や福祉施設等と連携した出前公演や講座などを行います。また、演劇や音楽を学校教育・生涯学習・福祉などに活用する点についても、関係各所と連携し展開していきます。

⑥　創造・人材育成

ワークショップなどの各種講座やフェスティバル、出前公演等について、地域のアーティストと連携しつつ実施することで、活躍の場を提供していきます。

⑦　常に市民や利用者とともに存在する施設

事業企画や実施などについて市民が関われる環境を整備し、市民にとって身近な施設づくりに努めます。

⑧　美術館や交流施設等との連携

美術館や交流施設、市民緑地等と一体整備される特性を生かした事業を行います。

(2) 事業内容

本施設の基本理念と目標を実現し、人を育て地域を活性化していくため、次のような事業を実施してまいります。

① 自主事業

区分	細目	内容
鑑賞事業	魅力的な公演の実施	・魅力的で話題性がある公演を実施していきます ・舞台芸術を鑑賞し感動すること自体がすばらしい経験であると同時に、文化活動人口の増加にもつながっていくことが期待されます
	観客育成型の公演	・出演者によるレクチャーつき公演など、観客の知的欲求を満たし、観客育成につながる事業を実施します ・市民緑地を活用した野外コンサート、幼児と親が共に楽しめるコンサート、ランチタイムに楽しめるガラコンサートなど、気軽に楽しめる公演を継続的に実施します
育成事業	参加体験型の講座やワークショップの実施	・子どもや青少年をはじめ、障がい者や高齢者なども含め、全ての市民に向けて、音楽や演劇等の参加体験型の講座を実施します
	アウトリーチ活動	・ホールに足を運ぶ機会がない人々に向けて、学校、福祉施設、公民館など地域の集会施設等で出前での公演や講座などを実施します
	福祉や教育との連携	・音楽や演劇等の肉体表現を教育や治療などで用いるためのワークショップ等、福祉や教育などと連携した事業を実施します
創造・創作支援事業	市民文化活動の支援	・地域の文化団体へのアドバイスや身近な相談への対応に加え、音楽や演劇のことについて市民が自由に相談できる窓口を設置し、身近で信頼される場を目指します
	オリジナル市民ミュージカルの制作	・戯曲ワークショップや演劇ワークショップを通じて、市民が制作し市民が舞台にあがる、上田市をテーマとするオリジナルの市民ミュージカルを制作します

② 貸館事業

区分	内容
地域の文化活動支援	・地域の文化芸術活動における貸館利用に対して、職員によるアドバイスや指導者の紹介、相談窓口の設置など、レベルアップに向けた支援を積極的に行います
プロ公演支援	・鑑賞機会の拡充、ホール使用料収入増も期待できるため、プロによる利用を促進するようつとめ、利用にあたっては協力体制をとっていきます。また、事業者との提携公演なども実施していきます
大会・集会利用の促進	・全国規模の大会や集会は、貸館収入の柱となるだけでなく地域活性化や商業・産業・観光などへの好影響が期待できることから、本施設ではこれらを積極的に誘致し、上田市全体を楽しんでもらえる環境づくりを行っていきます

第６章　運営管理費計画

１　支出の試算

(1)　維持管理費

維持管理費については、基本設計前の段階でありますので、他施設の事例をもとに以下のとおりと試算いたしました。

	㎡単価（千円）	想定面積（㎡）	年間維持管理費（百万円）
ホール部分	15	9,100	136
美術館部分	15	2,500	37
交流施設部分	12	2,400	28
管理部門	10	3,000	30
合計	-	17,000	231

なお、今後の設計段階で、冷暖房効率のよい施設づくりや警備のしやすい施設配置などの工夫により、さらに維持管理経費の軽減を目指してまいります。

(2)　事業費

本施設の理念が実現できる事業展開として、「第５章　事業計画」の自主事業を実施していくため、ホール部分で約４千万円、美術館部分で約１千万円、合計約５千万円の事業費を想定します。

(3)　人件費

人件費の算出にあたり、人員配置を次のとおりと想定します。

①　館　長（ホール、美術館を総括する館長）１名
②　ホール（プロデューサー、管理部門、事業部門、技術部門）１３名
③　美術館（プロデューサー、管理部門、事業部門）６名

以上合計２０名程度を想定し、任期付、嘱託、臨時職員の積極的かつ効率的な配置を行い、また市民ボランティアにも協力をいただくなどで人件費の軽減を図ることにより、人件費は合計で１億円程度と想定します。

(4)　運営管理費試算結果のまとめ

以上の結果をまとめると、次のようになります。

項目		金額（百万円）
維持管理費	施設全体	231
事業費	ホール部分自主事業費	40
	美術館自主事業費	10
人件費	ホール･美術館を含む	100
	合計	381

2　収入の試算

収入の試算にあたっても、基本設計前の段階でありますので、他施設の事例等をもとに以下のとおりと試算いたしました。

項目			金額（百万円）
利用料収入	大ホール	現上田市民会館の利用料収入と料金設定をもとに算出	27
	小ホール	信州国際音楽村ホールこだまの利用料収入を基に算出	5
	交流施設	現上田市民会館会議室の利用料収入をもとに算出	5
	美術館	全国の美術館の収入をもとに算出	5
		小計	42
事業収入	ホール部分	自主事業の想定に入場率･平均単価をかけて算出	20
	美術館	全国の美術館の収入をもとに算出	5
		小計	25
		合計	67

3　収支試算結果のまとめ

以上で試算してきた支出及び収入を項目別にまとめると、次のようになります。

項目			金額（百万円）
支出	維持管理費	施設全体	231
	事業費	ホール部分自主事業費	40
		美術館自主事業費	10
	人件費	ホール･美術館含む	100
		支出合計	381
収入	利用料収入	大ホール	27
		小ホール	5
		交流施設	5
		美術館	5
	事業収入	ホール部分	20
		美術館	5
		収入合計	67
		収支差	314
		現施設（上田市民会館･山本鼎記念館）の維持管理経費	△ 80
		実質増加額	234

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	鑑賞事業	事業テーマ	魅力的な公演の実施

実施施設： 新国立劇場

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	鑑賞事業	事業テーマ	魅力的な公演の実施

実施施設： サントリーホール

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	鑑賞事業	事業テーマ	観客育成型の公演

実施施設： ルネこだいら

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	育成事業	事業テーマ	参加体験型の各種講座やワークショップの実施

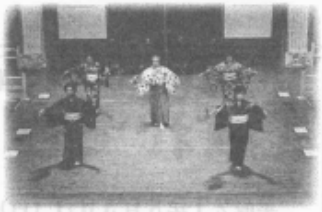
－夏の特別企画！　やさしい能楽　１から始める　お仕舞体験講座　PART Ⅴ－

能楽ワークショップ 参加者募集中！

今年で５回目を迎える能楽ワークショップ！
今年より＜夜の部＞を開講します。
大人も小学生も初心者大歓迎！！
気軽に“お仕舞”のお稽古してみませんか？

お仕舞とは？
能の中から“見せ場”となる３分程度の短い部分を抜き出し、
装物に袴をつけたのみの姿で演じる「舞」のことです。

◆参加条件：全ての稽古日程に参加でき、８月３０日（日）に行う発表会に参加可能な方
◆定員・対象：経験の有無は問いません。初心者大歓迎！
＜一般の部＞昼の部：２０名程度　夜の部：１５名程度／年齢・性別は問いません。
＜小学生の部＞２０名程度／小学３年生～小学６年生まで。年齢・性別は問いません。
※＜夜の部＞は定員に満たない場合は開講いたしません。
※応募者多数の場合、抽選となります。
◆受講料：一般の部 6,000 円（全６回）、小学生の部 3,000 円（全３回）
※受講料には８月 30 日（日）「能楽講座」の入場料を含みます。
※稽古で使用する「観世流仕舞扇（5,000 円程度）」が必要になります。（練習時貸出可）



◆稽古日程
＜一般の部＞全６回
①７月　９日（木）　②７月１６日（木）
③７月２３日（木）　④７月３０日（木）
⑤８月　６日（木）　⑥８月２０日（木）
※８月２８日（金）に発表会リハーサル、８月３０日（日）に発表会がございます。

＜小学生の部＞全３回
①８月２４日（月）
②８月２６日（水）
③８月２７日（木）

◆時間
＜一般の部＞昼の部：１３：３０～１６：００
夜の部：１９：００～２０：００
＜小学生の部＞１３：３０～１５：３０
◆講師：観世流能楽師　遠藤　喜久
◆練習場所：所沢市民文化センター ミューズ
所沢市立中央公民館（旧：生涯学習センター）＊７月３０日、８月６日のみ
◆服装：普段着で結構です。動きやすい服装でお願いします。
※白足袋をご持参ください。
※発表会当日は装物（女性は裾衣に袴、男性は裾衣に袴、小学生は裾衣）を着用します。

◆お申込方法：住所、氏名、年齢、性別、電話番号、経験の有無、＜昼の部＞＜夜の部＞の希望を明記の上、官製はがき、またはＦＡＸにて下記宛にお申込ください。
◆応募締切：＜一般の部＞６月２０日（土）必着　＜小学生の部＞７月３１日（金）必着

＊お申込先・お問合せ＊
〒３５９－００４２　所沢市並木１－９－１　所沢市民文化センター「能楽ワークショップ」係
TEL. ０４-２９９８-６５００　FAX. ０４-２９９８-６５６６

主催／（財）所沢市文化振興事業団　後援／所沢市教育委員会

実施施設：　所沢市民文化センターＭＵＳＥ

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	育成事業	事業テーマ	参加体験型の各種講座やワークショップの実施

実施施設： 東京文化会館

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	育成事業	事業テーマ	参加体験型の各種講座やワークショップの実施

実施施設： 横須賀芸術劇場

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	育成事業	事業テーマ	アウトリーチ活動

都留音楽祭コンサート情報

8/16 [Sat]

オープニングコンサート
～古楽セミナー講師陣によるコンサート～
［セミナー講師陣による絢爛豪華な演奏会］

19:00開演
3,000円

プログラム
ヴァイオリン・ソナタ第４番ハ短調（BWV1017）より〈ラルゴ〉Violin Sonata No. 4 in C minor〈Largo〉
〈ジグ〉―ボレ（北風の神）／ゼフィール（西風の神） Gigue-Boree / Zephire 音楽：無伴奏ヴァイオリンのための
パルティータ第２番ニ短調より （Unaccompanied Violin Partita No. 2 in D minor BWV1004)
構想／振付：浜中康子（ペクール他の舞踏譜に基づく） (Conception / Choreography: Yasuko Hamanaka
(Pecour etc.))
〈ガボット〉パストラルGavotte-Pastorale 音楽：無伴奏チェロ組曲第６番ニ長調（BWV1012）より （Unaccompanied
Violoncello Suite No. 6 in D major〈Gavotte〉) 構想／振付：浜中（Conception / Choreography: Y. Hamanaka)
〈エア〉―眠り／沈黙／夢Air-Sommeil / Silence / Songe 音楽：管弦楽組曲第３番ニ長調（BWV1068）より
(Orchestral Suite No. 3 in D major〈Air〉)、振付：トーマス・ベアード（Choreography: Thomas Baird)
バッハJ. S. Bach (1685-1750)
浜中康子Yasuko.Hamanaka・北條耕男Takao Hojo (Dance)、渡邊慶子Keiko Watanabe・伊藤誠Makoto Ito
(Violin)、福澤宏Hiroshi Fukuzawa (Viola da gamba)、岡田龍之介Ryunosuke Okada (Cembalo)
２つのリコーダーのためのソナタ ヘ長調 Sonata I F-major for two Recorders・・Largo／Allemanda (Vivace)／
Allegro／Allegro／Giga コレッリArcangelo Corelli (1653-1713)
吉澤実Minoru Yoshizawa・大竹尚之Naoyuki Ohtake (Recorder)、福澤宏 (Viola da gamba)、
土居瑞穂Mizuho Doi (Cembalo)
ピアノソナタ 嬰ハ短調 作品27の2「月光」）Piano sonata No.14 in c-sharp minor,op.27-2 "Moonlight"・・Adagio
sostenuto／Allegretto／Presto agitato ベートーヴェンLudwig van Beethoven (1770-1827)
小倉貴久子Kikuko Ogura (Fortepiano)
新しい四重奏曲（パリ四重奏曲）第２番イ短調）2 me Nouveaux Quatuor en la mineur・・Prelude, Allegrement／
Flatteusement／Legerement／Un peu vivement／Vite／Coulan
テレマンGeorg Philipp Telemann (1681-1767)
中村忠Tadashi Nakamura (Flute)、渡邊 (Violin)、福澤 (Viola da gamba)、岡田 (Cembalo)
〈彼の金髪も〉His golden locks 〈流れよ わが涙〉Flow my tears
〈うせろ 自分しか愛さない者たち〉Away with these
self-loving lads 〈時よ しばらく立ち止まれ〉Stay, time awhile thy flying
ダウランドJohn Dowland (1563-1626)
波多野睦美Mutsumi Hatano (Mezzosoprano)、つのだたかしTakashi Tsunoda (Lute)

※演奏曲目、曲順及び出演者は一部変更になる場合がございます
※詳細は当日プログラムをご確認ください

※オープニングコンサートのチケットは、音楽祭期間中の全コンサートの通し券。全席自由。未就学児入場不可。

8/17 [Sun]

アウトリーチコンサート
～地元小中学生によるリコーダーコンサート～

●14：15開演 ●入場無料●老人保健施設つる1階ホール

プログラム
赤いやねの家／パヴァーヌ「眺い」／チャルメラ・ダンス／ひらいたひらいた／大きな古時計 ほか

出演 清水靖夫[指揮]／都留音楽祭 小中リコーダー受講生［リコーダー・歌］／
コンソート・エミュー[リコーダー・歌]／上野尚子［ピアノ］

※演奏曲目は一部変更になる場合がございます

実施施設： 都の杜うぐいすホール

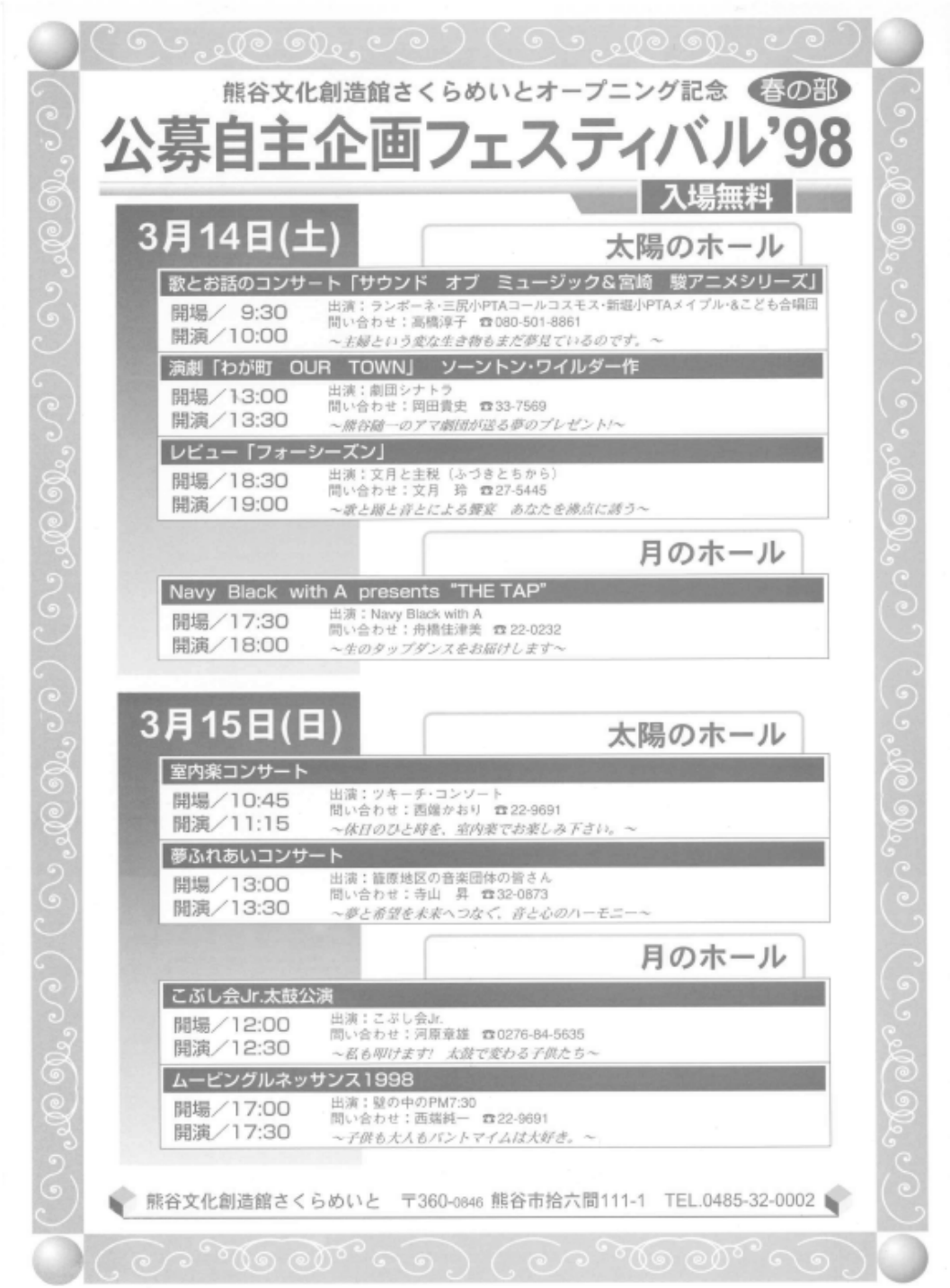
類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	育成事業	事業テーマ	福祉や教育との連携

実施施設： 帝京平成大学　沖永記念ホール

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	創造・創作支援事業	事業テーマ	市民文化活動の支援



熊谷文化創造館さくらめいとオープニング記念 春の部

公募自主企画フェスティバル'98

入場無料

3月14日(土)

太陽のホール

歌とお話のコンサート「サウンド オブ ミュージック&宮崎 駿アニメシリーズ」
開場／ 9:30
開演／10:00
出演：ランボーネ・三尻小PTAコールコスモス・新堀小PTAメイプル・&こども合唱団
問い合わせ：高橋淳子 ☎080-501-8861
～主婦という変な生き物もまだ夢見ているのです。～

演劇「わが町 OUR TOWN」 ソーントン・ワイルダー作
開場／13:00
開演／13:30
出演：劇団シナトラ
問い合わせ：岡田貴史 ☎33-7569
～熊谷随一のアマ劇団が送る夢のプレゼント!～

レビュー「フォーシーズン」
開場／18:30
開演／19:00
出演：文月と主税（ふづきとちから）
問い合わせ：文月 玲 ☎27-5445
～歌と踊と音とによる饗宴 あなたを極点に誘う～

月のホール

Navy Black with A presents "THE TAP"
開場／17:30
開演／18:00
出演：Navy Black with A
問い合わせ：舟橋佳津美 ☎22-0232
～生のタップダンスをお届けします～

3月15日(日)

太陽のホール

室内楽コンサート
開場／10:45
開演／11:15
出演：ツキーチ・コンソート
問い合わせ：西嶋かおり ☎22-9691
～休日のひと時を、室内楽でお楽しみ下さい。～

夢ふれあいコンサート
開場／13:00
開演／13:30
出演：籠原地区の音楽団体の皆さん
問い合わせ：寺山 昇 ☎32-0873
～夢と希望を未来へつなぐ、音と心のハーモニー～

月のホール

こぶし会Jr.太鼓公演
開場／12:00
開演／12:30
出演：こぶし会Jr.
問い合わせ：河原章雄 ☎0276-84-5635
～名も申けます! 太鼓で変わる子供たち～

ムービングルネッサンス1998
開場／17:00
開演／17:30
出演：壁の中のPM7:30
問い合わせ：西端純一 ☎22-9691
～子供も大人もパントマイムは大好き。～

熊谷文化創造館さくらめいと 〒360-0846 熊谷市拾六間111-1 TEL.0485-32-0002

実施施設： 熊谷文化創造館

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	創造創作支援事業	事業テーマ	ホール運営への市民参加

ポポロ文化ボランティア養成講座

文化ボランティアに興味のある方を募集しています！

ご自分が楽しむだけでなく、多くの市民がポポロの公演を楽しめるよう
お手伝いをしていただく方を募集し、養成講座を開講します。

第Ⅰ期　平成22年9月～平成23年8月（全10回）

先着50名
受講料無料

●基礎研修講座Ⅰ（6回）

♪レセプショニスト研修講座①
　平成22年9月23日（木・祝）　14:00～16:00　ポポロ　リハーサル室
♪レセプショニスト研修講座②
　平成22年11月23日（火・祝）　14:00～16:00　ポポロ　リハーサル室
♪「初めてのクラシック　～ネット配信の最新オーディオで聴く～」
　全4回（1，3，5，7月）　日時未定
　講師：相場ひろ（音楽評論家、京都在住）　／オーディオ提供（東京クリプトン社）

●実地研修（2回）

♪「青島広志/音楽個展　～音と絵の結婚～」　平成23年2月22日～27日
♪「錦織　健/テノールリサイタル」　平成23年3月19日

●基礎研修講座Ⅱ（2回）

♪「今を生きる舞台芸術　～音楽・オペラ編」①　平成23年4月
　講師：吉田純子（朝日新聞東京本社 文化部　音楽担当記者）
♪「今を生きる舞台芸術　～バレエ・ダンス編」②　平成23年6月

全10講座を受講した方には、
『ポポロファミリー』として
ボランティア登録をしていただき、
今後ポポロの自主公演などで、
お手伝いをしていただく予定です。
（希望者のみ）

ボランティア登録後、
お手伝いをしていただくと・・・

その活動に応じて、〈ポポロ通貨〉を
お支払いします。
ポポロ通貨を使って指定の公演の
チケットを購入できます。

お問合せ&お申込み　〒723－0051　三原市宮浦２丁目1-1　Tel.0848-81-0886　Fax.0848-81-2155　三原市芸術文化センターポポロ　まで
下記申込書を添えてお申込ください。

キリトリ

ご住所　〒　－　　電話番号（　　）　－

お名前　　生年月日　昭和・平成　年　月　日

ボランティア活動に　たいへん興味がある　・　興味がある　・　話を聞きたい

受付	日付	台帳
	／	

※ご記入いただいた個人情報は、三原市芸術文化センターからの連絡、情報提供のために利用することがあります。

実施施設：　三原市芸術文化センター

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	創造創作支援事業	事業テーマ	ホール運営への市民参加

なぎさホール／開場13:30　開演14:00（第1・2回）
開場18:30　開演19:00（第3回）

逗子名人会

全3回公演　10/8(日)第1回　12/16(土)第2回　平成19年3/1(木)第3回

お得な3回セット券を発売中！

■第1回　東西落語新時代
出演：春風亭昇太、桂雀々、桂平治、桂つく枝
■第2回　落語三都巡り
出演：三遊亭円丈、笑福亭鶴光、古今亭志ん輔
■第3回　小三治・染丸東西落語会
出演：柳家小三治、林家染丸、柳家喬太夫、林家染左

料　　金　前売3,500円　当日4,000円
3回セット券9,000円（文化プラザホールのみで発売）　全席指定
チケット販売　文化プラザホールほか市内外の販売店にて好評発売中

なぎさホール

「市民によるニューイヤーコンサート」出演者募集

指揮・オーケストラ指導：前澤均
合唱指導：川上久美子
平成19年2/4(日)

オーケストラ団員、合唱団員を募集します。
■募集期間　9月10日(日)まで
＊募集内容、条件、参加費、練習日程、場所など詳細については、ホームページまたは文化プラザホール受付に設置する募集要項をご覧ください。

逗子文化プラザ会議室、なぎさホールほか
18:30～20:30　＊10月8日(日)のみ12:00～16:30

レセプショニスト養成セミナーⅡ

開催全5回　9/14(木)　9/21(木)　9/28(木)　10/8(日)　10/12(木)

講　　師　横浜みなとみらいホールレセプショニストマネージャーほか
対　　象　市内在住・在勤・在学で全回出席できる方
募集人数　15人
参 加 費　3,000円（資料代含む。セミナー初回に納付）
応募方法　往復はがきに、氏名・住所（市外の方は勤務先、学校名を記入）・電話番号・年齢を明記し、文化プラザホール「レセプショニスト養成セミナーⅡ」係へ送付してください。
＊ 応募先は本ページ下を参照。
締 切 日　8月25日(必着)
＊応募者多数の場合は抽選。結果は8月末日までに応募者全員に通知します。

応募締切　9月20日（水）（必着）

「第2回逗子湘南ロケーション映画祭」シナリオ大賞2006

映像化を前提とした映像作品のシナリオを募集します
■募集作品　中編の部　上映時間30分程度の作品
短編の部　上映時間10分程度の作品
■賞　中編の部　大賞100万円／短編の部　大賞30万円
＊応募方法など詳細は、ホームページまたは文化プラザホール受付に設置する募集要項をご覧ください。

逗子・湘南ネクストウェーブ「ささなみライブ」出演メンバー募集！

湘南地域のアマチュア若手ミュージシャンを支援し、ミュージックシーンを活性化するため、ささなみホールを使ったライブコンサート出演メンバーを募集します。応募に年齢制限はありません。逗子や湘南で音楽活動をしているみなさん、是非出演してみませんか？
応募要項など詳細はホームページや文化プラザなどでお配りするチラシをご覧ください。テープなどによる事前審査により出演者を決定します。

プラザ名画座

なぎさホール／開場13:30　開演14:00

8月のプラザ名画座のテーマは、ずばり「海」

8月19日(土)　「スプラウト」カリスマサーファー、ジョエル・チューダーをはじめとする、世界的なサーファーたちの華麗なライディングを堪能！

8月20日(日)　「皇帝ペンギン」南極の壮大な自然のスペクタクルと、皇帝ペンギンの親と子の感動の物語。監督：リュック・ジャケ
・9月29日(金)「たそがれ清兵衛」
・10月 7日(土)「子ぎつねヘレン」

料　　金　前売500円　当日700円　全席自由
チケット販売　文化プラザホールのみで販売中

逗子文化プラザ

問 合 先
文化プラザホール
〒249-0006 逗子市逗子4-2-10
☎046-870-6622
FAX046-870-6612
メールアドレス
plaza@city.zushi.kanagawa.jp
ホームページアドレス
http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/plaza/index.html

利用予約申込
①抽選申込み
ホール・ギャラリー平成19年10月分
練習室平成19年1月分
インターネットによる申込期間
平成18年9月1日(金)～15日(金)
＊希望が重なった場合は抽選
②先着順申込み
ホール・ギャラリーの平成19年9月分と練習室の平成18年12月分については、平成18年9月1日(金)9:00から先着順で申込みを受け付けます。
インターネットと携帯電話からの予約申込み（初めて予約する場合は事前登録が必要）
PC　https://www.slsetu.net/zushi/
携帯　https://www.slsetu.net/zushi/
③会議室の申込み
平成19年10月分の会議室の申込みは、平成18年9月1日(金)9:00から。
休館日のお知らせ
8月15日(火)、9月5日(火)・19日(火)（第1・第3火曜日）

スズキヤ逗子駅前店サービスカウンター☎046-871-3315　逗子レコードショップ☎046-871-3017　ヤジマレコード新逗子店☎046-873-0024　島森書店鎌倉本店☎0467-22-0266　島森書店大船店☎0467-46-3841　＊取扱いは催しにより異なります。

11

実施施設：　逗子文化プラザホール

類似施設での自主事業展開具体例

事業種別	交流事業	事業テーマ	オリジナル市民ミュージカルの制作

実施施設： アルカスＳＡＳＥＢＯ